

# やまがた「県土未来図」(豊かな県土を次世代に引継ぐために)

## 時代の変化

- 安定・低成長型の社会経済
- 少子高齢化を伴う本格的な人口減少社会
- 地球温暖化など環境に関する問題が世界共通の課題
- 自立が求められ多様化・多元化が進展する時代
- 経済をはじめとした様々な分野でグローバル化
- 地方分権の進展やNPO活動の活発化など自立的な地域社会の形成に向けた動きが活発化
- 知恵と知識が社会経済の発展を主導する時代
- 画一的な成長・拡大を基調とした時代から質的な豊かさや個人の多様性が重視される時代への転換

建設行政の  
目指すところ

目指すべき次世代の県土のすがた(2030)

## 活力があり・美しく・楽しい山形

- 安全・安心な県土で産業活動や広域交流を支える高速交通網などの社会基盤が整備された活力のある社会
- 最上川などに代表される山形固有の自然環境、地域文化、県土景観が保全・継承・創出されている美しい社会
- 人々との協働による取り組みが活発で次世代につなぐ持続可能で楽しい社会

実現するための  
目標

基本目標(目指すべき次世代の県土のための行動目標)

- 安全・安心を支える県土づくり(安全・安心)
- 広域交流を進める交通基盤づくり(交流)
- 地域力を生み出す生活基盤づくり(暮らし)
- 質の高い持続可能な県土づくり(持続可能な県土)

## 県土づくりを進める7つの視点

- 「つくり続ける」から「使い・活かし続けて」さらに「楽しめる」社会基盤へ
- 公共投資の「選択と集中」や「効率的効果的」な執行と「透明性」の確保
- 「環境保全」や「景観創出」による固有性の発揮
- 「住民参加・住民協働」によるパートナーシップの形成
- 「地域の実情に応じた柔軟な取り組み」(やまがたルール)
- 「ユニバーサルデザイン」の導入による思いやりの気持ち
- 「IT活用」による効率化

施策を考えるうえでの  
留意点

基本理念

「つくり続ける」から  
「使い・活かし続けて」  
さらに「楽しめる」社会基盤へ

施策を考えるうえでの  
整備目標

公共投資の展望

- 財政制約と人口減少等
- 整備水準と維持修繕の考え方

## 基本目標に向かって進める施策の体系

一・安全  
を支える  
県土づくり

- 治水、土砂災害対策の推進
  - 地域の防災力の向上等、ソフト面の対応による災害対策
  - 減災効果、防災機能の強化等、ハード面の対応による災害対策
  - 震災等に強い治水・砂防施設等の補強と活用
- 災害に強い住まいづくりの推進
  - 災害に強い建築物の整備・支援、防犯に優れたまちづくり対策
- 危機管理対策の推進
  - 使える防災体制づくり
  - 機能的な緊急輸送道路、孤立させない道づくり
  - 空港・港湾の安全対策、テロの未然防止対策

防災、  
減災による  
安全な  
県土

二・広域  
交流を  
進める  
交通基盤

- 高速交通ネットワークの形成推進
  - 広域経済を支える高速交通ネットワークの整備
  - 地域の活力を担う幹線道路アクセスネットワークの整備
- 世界との交流推進
  - 世界を相手にグローバルな空港港湾整備
- 便利で快適な公共交通対策の推進
  - 利便性の高い鉄道・バス対策
- 冬期間の雪害対策の推進
  - 冬季活動を支える雪に強い道づくり

産業、観光  
が活発化  
する  
県土

三・地域  
生活基  
盤を  
生み出す

- 都市の拠点性向上の推進
  - コンパクトシティづくり(創造的な規模縮小)の推進
  - 地域の拠点を生む中心市街地の活性化
  - 歩いて楽しい道路空間の整備
- 生活環境づくりの推進
  - 快適な生活を支える道路整備
  - 消流融雪設備による快適な道づくり
  - 下水道整備による最上川の水質浄化
- 誰もが暮らしやすい居住環境づくりの推進
  - 住まいのセーフティネットの構築
  - 地域定住・活性化の促進
  - 少子高齢化時代の住まいづくり

暮らしやすく  
楽しい  
県土

四・質  
の高い  
持続  
可能な  
県土  
づくり

- 県土管理システムの推進
  - 公共事業評価システムの構築、適正運用
  - コスト構造改革、入札、契約制度の改善・適正運用
  - 山形ローカルルールの取り組み推進
  - 民間活力導入事業の推進
  - IT活用プロジェクトの推進
  - 建設産業の振興
- 環境対応施策の推進
  - 自動車交通の円滑化などによるCO<sub>2</sub>削減の取り組み
  - 資源再利用による循環システムの推進
- 地域をつくる県民参加の推進
  - 県民参加の取り組み推進
- 使い続ける維持管理の推進
  - 公共施設最適管理・利用プロジェクトの実践
- やまがたの美しい景観づくりの推進
  - 行政手法を含めた「ふるさとやまがた」の景観づくり
- 山形の歴史などを活かしたまちづくり、地域づくりの支援
  - アルカディア街道復興計画の取り組み

いつまでも  
自然豊かで  
美しい  
県土

次世代に向けて関係部局と連携しながらハード・ソフトにも誇りに展開する元気なふるさと「やまがた」づくり